

# らいてうの家 通信 21号

…平和・協同・自然のひろば…

2011. 4. 1

らいてうの家 〒386-2201 長野県上田市真田町 長十の原1278  
TEL/FAX 0268-74-1385  
NPO 平塚らいてうの会 〒112-0002 東京都文京区小石川5-10-20 5F  
TEL/FAX 03-3818-8626

## 2011年4月29日 オープン

『青鞥』創刊100周年

今回の震災で被災された方がたに、心からお見舞い申し上げます。みんなで手をつないで生きていきましょう。らいてうの家もお役に立ちたいと思います

4月29日(金)の

らいてうの家オープニングは茶会(点心つき)とコーラスで

らいてう茶会 11:00~12:40

お茶券(点心とも)800円(「家」への維持寄付は別にお願ひします)

予約受付中 03-3818-8626(らいてうの会)または0268-35-2192(杉山)へ

☆ 合唱 13:00~14:00

秋山洋次郎&スプリングスターズ

早春賦 どこかで春が アザミの歌 朧月夜 春 カチューシャ 野ばら 他いっぱい

青鞥百年記念らいてう講座—エディターズ・ミュージアム&真田図書館で

今年6月のらいてう講座は出前スタイルで。会員以外の方もぜひおいでください。

- ① 小宮山量平が語る『青鞥百年』—森田草平の思い出など—  
ところ 上田駅前のエディターズ・ミュージアム(若菜館3F)  
とき 6月25日(土)午後1時半より  
参加費 600円(入館料とも)

森田草平といえらいてうとの「心中未遂」でさわがれ、小説『煤煙』で有名に。小宮山さんは戦後理論社から『森田草平選集』を出版、親しかったそうです。秘話に期待?

- ② 米田佐代子が語る「『青鞥』は女の一騎うち」  
らいてうの生き方の原点をさぐる  
ところ 上田市真田町 新設の真田図書館  
とき 6月26日(日)午後1時半より  
参加費 300円



「エディターズ・ミュージアム」  
で講演する小宮山さん

50年前の『青鞥』創刊五〇年に書いたらいてうの文章はすごい迫力!  
関東大震災のときもめげなかつたらいてうの強さの秘密をさぐります。

## 森の命に会いにいこう

〇らいてうの家から足をのばして～この冬、久しぶりの深い雪につつまれたらいてうの家、らいてうの森も今春の目覚めを待っていることでしょう。家がオープンすると、五月には、植樹したブナなどの芽吹きとともに独活(うど)やたらの芽などの山菜が芽を出し、カラマツの美しい芽吹きにつつまれたあずまや高原は次々と美しい花で彩られます。らいてうの森の山道にまで広がるタチツボスミレの群落、6月にかけて別荘地の中にはピンクのベニバナイチヤクソウが群落をつくり、紫のアヤメもひっそりと咲いています。6月の20日頃を中心にあずまや高原を彩るのはレンゲツツジの赤です。この頃のあずまや高原から菅平高原にかけての自然探索はきっと心楽ませてください。らいてうの家の庭でもワラビが次々に生えてきます。

〇7月24日(日)森の講座～らいてうの森のブナなどの苗木に会いに行きましょう。初夏の森の楽しみもあじわって。そして、この地域の森を覆っている熊笹についての勉強も。さわやかな高原の風を体感しましょう。詳しくは、7月のニュースでお知らせします。

### 真田・上田らいてうの会で『自伝』の読書会

らいてう自伝『元始、女性は太陽であった』の読書会を昨年4回やり、最後の4巻『女性の力で平和を』を4月20日、午後2時から「上田市プラザゆう」で予定しています。

毎回20名以上の参加があり大変好評です。1巻ずつ読んで感想を述べ合い、その後米田先生が時代背景などの解説をしてくださるので内容が一段と深まります。

第1巻「生い立ちから、『青鞥』創刊まで」について、まず小説のように面白く、平塚明の精神遍歴に目をみはり、塩原事件でのらいてうの「ゆらぎ」のころについての先生の話は印象に残りました。

第2巻「青鞥」時代について、女子大生や女性に対する社会の冷たい偏見の目や伊藤野枝、生田長江との関わりについての事など自伝では読み取れないはなしなどは興味深いものでした。第3巻「母性保護の火はもえて」のらいてう、与謝野晶子の母性保護論争は現代の私たちの時代にも続く問題です。長野の教育界についてや日本の女性の地位の低さ、今の若者の仕事事情など話しは尽きませんでした。

強靱な魂と行動力で日本の女性の行く道を照らすらいてうの志をこれからの若い人にも知ってもらいたいです。(真田らいてうの会 木村見江)



居眠りも忘れ熱心なみなさん

7月17日(日)は真田町で「新生上田市5周年記念講演会」です。今回の震災のことも踏まえ、「青鞥百年と市民の生き方」について米田館長が話します。詳しくは次号に。

### 平塚らいてうの会紀要(A4判・各700円)

- 創刊号 平塚らいてうと平和思想など新資料より他
  - 第2号 「新しい女」を愛した「新しい男」
  - 第3号 『青鞥』の時代と信州
  - 第4号 『青鞥』創刊百周年記念特別号
- 6月発行予定、ご期待ください(1000円予定)

### 「らいてう」ニューヨークへ行く!(A5判・300円)

NPT再検討会議ニューヨーク行動参加の記録  
らいてうの家 四季ものがたり(A5判・300円)  
「らいてうの家」オープン以来、地域の人びととの熱い交流、笑いあり涙ありのエピソードがいっぱい!

### 真田らいてうの会が大震災に義援金!

今回の大震災では上田地方も大揺れ、介護中の家族を抱え「逃げられないかも」と思った会員もいます。真田らいてうの会は役員一同で相談の上、信濃毎日新聞の呼びかけに応じて、これまでフリマなどで積み立ててきた活動資金から10万円を義援金として寄付しました。日ごろボランティアで活動していますが、「他人事ではない」と決心。「相互扶助」を訴えたらいてうさんが喜んでいるのではないのでしょうか?

### NPO平塚らいてうの会

東京都文京区小石川5-10-20 5F TEL・FAX 03-3818-8626

ゆうちょ銀行 口座 00150-9-553046 NPO平塚らいてうの会